



「あいさつ」と「基本的生活習慣」の定着を目指して

5月の「鏡野町生徒指導推進連絡協議会」総会において、今年度の鏡野町の生徒指導共通目標として、「あいさつ運動」と「早寝・早起き・朝ごはん運動」の二つが決まりました。

児童・生徒を取り巻く昨今の環境は極めて厳しく、子どもたちを巻き込んだ事件が後を絶ちません。そんな中で、健全な児童・生徒の育成を考えたとき、大切になってくるのはやはり、「あいさつ」と「基本的生活習慣」の二つということだと思っています。

一日の生活は、あいさつで始まり、あいさつで終わります。「上齋原中学校の生徒は、来賓の方々によくあいさつができる。」とお褒めの言葉をいただいています。日々の学校生活の中で、教室・部活動などのいろいろな場面とおして、あいさつが身についてきているのだらうと思います。

また、上齋原中学校では、生徒集会などで全員があいさつをするとき、以前から号令はかけていません。自主的にあいさつをしよう

との考えから号令はやめた、と聞かれています。その効果もあるのでしよう。

全校生徒22名の小さな学校なので、教師はすべての生徒といっしょに学習をし、給食もいっしょに食べます。お互いにあいさつが日々できているかをもう一度振り返りたいと思い、機会をとらえて、あいさつの大切さを呼びかけているところです。

基本的生活習慣については、先日、一年生8名にアンケートをとったところ、朝食は全員とっているとの回答でした。「早寝」については個人差があり、最も早い生徒が9時、最も遅い生徒が11時半でした。アンケートの結果は、生徒が自分の日々の生活を見直す資料として活用しています。

また、上齋原学園（幼稚園・小学校・中学校）では、生活習慣アンケートをとってみようと考えています。6月中に実施し、その結果を7月の地区懇談会の話題の一つにする予定です。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
上齋原中学校 白井 義彦

のびのびひろば

芳野保育園

4月28日



佃さんのお庭で教えてもらいながら、もみまきをしました。

べちょーっとするなあ！

泥の感触も楽しみました。



芳野保育園の年長児が、芳野地区老人クラブ、JAつやま青年部、保護者の方々と初めての田植えに挑戦しました。地域の方々と一緒にみんなで大きく育て、秋には収穫し、おもちつきをする予定です。

『さあ田植えに挑戦!!』

5月25日



ふわふわしとるなあ

1ヶ月経ったもみを見てその生長にびっくり!!

6月2日



地域の方々とのお米作りを通して、収穫までの過程や農作業の大変さや喜びを感じ、食を大切にする気持ちが子ども達の心に育ってほしいと願います。



おいしいちゃんから苗をうけとり、やさしく植えていきました。